

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館運営			20年度予算コード	7	整理番号	616	枝番号				
担当部課名	中央図書館	コード	620100		昨年度 整理番号	838の一部,839,843,844,845, 846,847,848,849,850,851							
係名	管理係	連絡先 電話番号	4715										
上位施策名	No	63	図書館サービスの充実										
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	25 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	4・5
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他	図書館利用者及び団体(学校、保育園、ゆうゆう館など)		根拠法令等								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	民との協働による図書館運営の推進、効果的な図書館サービスの提供 図書資料の購入や整備、各種事業の実施 利用者用インターネット/パソコンによる電子情報の提供 子ども読書活動の推進 図書館システムの安定稼働のための改修・更新		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		(1) 地方自治法第2条第2項 (2) 図書館法 (3) 杉並区立図書館条例・同施行規則							
	活動指標名(式)	(1) 蔵書数 (2) 貸出冊数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 住民1人あたりの蔵書数(蔵書数 ÷ 杉並区の人口) (2) 区民1人あたりの貸出数(貸出冊数 ÷ 杉並区の人口)							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する19年度 の達成率%					
	活動指標(1)	冊	2,136,182	2,200,000	2,166,751	2,210,000	2,260,000	95.9					
	活動指標(2)	冊	3,730,626	4,200,000	4,135,079	4,240,000	4,380,000	94.4					
	成果指標(1)	冊	4.02	4.10	4.04	4.12	4.17	96.9					
成果指標(2)	冊	7.04	7.88	7.74	7.90	8.10	95.6						
総事業費・コスト把握	事業費	千円	688,617	729,488	704,230	724,529	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等	千円	3,954	3,773	3,593	0							
	(内) 委託費	千円	291,944	363,821	381,501	366,793							
	職員数(常勤 非常勤)	人	129.72 46.20	101.70 32.70	103.96 35.30	96.00 51.60							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,175,263	929,538	950,194	877,440						
		非常勤職員分	千円	130,746	90,579	97,781	142,932						
	総事業費 + +	千円	1,994,626	1,749,605	1,752,205	1,744,901							
	単位あたりコスト(-) ÷	円	932	794	807	790							
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0						
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	1,994,626	1,749,605	1,752,205	1,744,901							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)								
	図書館資料購入		13	館	204,708								
	施設運営管理(委託等)		11	館	180,625								
	施設維持管理(電子計算組織管理)		16	施設	167,976								
	指定管理による管理		2	館	108,964								
その他 (情報化の推進、子ども読書活動推進、図書等装備 等)		13	館	41,957									

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 616 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	98.5	活動指標(2)の 19年度達成率%	98.5	19年度予算 執行率%	96.5
	概ね事業規模に応じた執行となっているが、図書館行事の際の職員の創意工夫や、ボランティアの活用などにより、経費の節減を図っている。また、図書館システムの管理や利用者用インターネットパソコンの運営について、契約落着のほか契約形態の見直しなどにより経費節減を図った。					

前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	平成19年3月の新図書館システム導入に伴い、平成18年度末から図書館サービスの刷新を図り、平成19年度より本格的に運用を始めているほか、図書館システムの改修を行い利便性の向上を図った。 また、利用者用インターネットパソコンを全館に設置し、地域の課題解決型図書館を目指しサービスの拡充を図った。 その他、講座・講演、映画会などの各種事業など、従来からの図書館サービスを継続的かつ安定的に運営し、図書館の利便性の向上に努めている。
---	---

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	昭和25年の区立図書館設置から、現在は13館整備され、他にも図書館サービスの一部を提供する施設として4所を加え、計17施設で図書館サービスを提供している。また、各施設の運営形態も、直営、委託、指定管理、ボランティアなど様々な形態となっている。サービス面では、平成18年度末の新図書館システム稼働に合わせ、利用カードの更新制度の導入、貸出冊数増、利用者用インターネットパソコン設置、ペーパーレス化などサービスの充実を図っている。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	蔵書及び予約・リクエストの充実、図書館システムの利便性の向上に関する意見が寄せられている。
	今後の予測	平成20年度から、効率的かつ効果的な図書館運営を目指し実施する図書館の経営評価により、図書館ごとのサービスの成果や達成度のほか、改善点等課題を明らかにする。また、結果を公表することにより透明性の高い図書館運営を行っていくこととなり、今後更に利用者の視点に立った図書館運営が図られていく。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:「教育立区」を目指す杉並区として、地域の生涯学習の基盤となる図書館の役割は大きい。その運営において、蔵書の整備や様々なサービスを提供することは、読書活動の推進や地域の課題解決の一助ともなる。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 図書館サービスのうち、民との協働により充実した事業を行うことが可能である。また、指定管理者による運営の中でも民間のノウハウを生かした創意工夫によるサービス提供が可能である。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 図書館法第17条の規定により、区立図書館利用は無料となっている。ただし、講演・講座など一部事業によっては、実費負担の可能性は検討すべき課題である。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 図書館運営委託や指定管理者制度の活用、非常勤職員の活用により、コストの抑制は可能である。

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 平成17年度より一部で委託を導入後、現在、指定管理2館、運営委託4館(1館は窓口のみ)と、民との協働による図書館運営が進んでおり、サービス面においても、独自性を発揮した事業を取り入れるなど、利用者へのサービス向上とともに図書館運営に対し活性化が図られている。
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当] (具体的内容)	今後の課題としては、民との協働の在り方や進め方を検討していく必要があるが、20年度に実施する図書館の経営評価に基づき、具体的な課題や対応策を明らかにしていく。

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成19年度より導入した指定管理者制度による図書館運営及び運営委託により、コストの抑制や独自性を持った事業展開などを推進した。20年度は、すべての図書館において経営評価を実施し、これまでの図書館運営の成果やサービスの達成度、課題等を明らかにし、その結果を総合的に検証した上で、区立図書館の方向性や運営体制など、効率的かつ効果的な運営に向け、更なる経営改革を進めていく。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ・区の役割を明確化し、その役割が適切に果たせる態勢を整えていく。 ・生涯現役の地域社会を支える図書館づくりに向けた人員と財源の確保。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 21年度については図書館運営の規模の変動が予定されていないため、かかる経費に大きな変動は予想されない。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		図書館施設維持管理			20年度予算コード	2	整理番号	617	枝番号				
担当部課名	中央図書館	コード	620100		昨年度 整理番号	838の一部,840,841							
係名	管理係	連絡先 電話番号	4715										
上位施策名	No	63	図書館サービスの充実										
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	27 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	3	施策番号	2	事業コード	3
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	(1) 地方自治法第2条第2項 (2) 図書館法 (3) 杉並区立図書館条例・同運営規則							
	図書館利用者	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 図書館利用者が、安全で快適な施設利用を行える。											
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 施設の適正な維持管理を行い、図書館利用者の安全性及び利便性の向上を図る。	活動指標名(式)											
(1) 開館日数(全館累計)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標											
(2) 利用者数(全館累計)		(1) 1日あたりの維持管理経費(維持管理経費 ÷ 開館日数)											
		(2) 利用者1人あたりの維持管理経費(維持管理経費 ÷ 入館者数)											
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%				
			実績		計画		計画	22年度					
	活動指標(1)	日	3,886		4,073		4,064	4,295	4,298	94.6			
	活動指標(2)	人	2,646,913		2,852,000		2,576,955	3,006,000	3,017,000	85.4			
	成果指標(1)	円	52,318		51,673		44,974	51,035	51,000	88.2			
成果指標(2)	円	77.5		73.8		71.8	77.2	70.0	102.6				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	639,002		719,221		635,980	219,197	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	376,865		410,478		406,941	0					
	(内) 委託費	千円	507,932		595,303		118,094	131,892					
	職員数(常勤 非常勤)	人	9.74	0.80	9.30	0.80	8.02	1.20	4.00	1.20	平成18・19年度に執行されていた「図書館建設」及び「図書館改修」両事業については、平成20年度の事務事業が存在しないため、担当課の所管する事務事業として性質を同じとする本事務事業へ過去2年分の必要経費等を計上する。 18年度実績(決算) ・図書館建設(総額) 238,647千円 ・図書館改修(総額) 197,049千円 19年度計画(予算) ・図書館建設(総額) 259,177千円 ・図書館改修(総額) 232,165千円 19年度実績(決算) ・図書館建設(総額) 216,017千円 ・図書館改修(総額) 219,830千円		
	人件費	千円	88,244		85,002		73,303	36,560					
	常勤職員分(超勤分含む)	千円	2,264		2,216		3,324	3,324					
	非常勤職員分	千円	729,510		806,439		712,607	259,081					
	総事業費 + +	千円	90,748		97,216		75,213	60,322					
	単位あたりコスト(-) ÷	円	0		0		0	0					
	財源	千円	0		0		0	0					
国・都等からの支出金	千円	0		0		0	0						
特定財源計 +	千円	0		0		0	0						
差引: 一般財源 -	千円	729,510		806,439		712,607	259,081						
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容							規模	単位	事業費(千円)			
	図書館改修(高円寺図書館)							1	館	219,830			
	図書館建設(今川図書館)							1	館	216,017			
	施設維持管理(施設保守管理委託)							11	館	102,057			
	施設維持管理(光熱水費)							11	館	57,201			
	その他 (施設維持管理(備品、賃借料、修繕費等))							11	館	40,875			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 617 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	99.8	活動指標(2)の 19年度達成率%	90.4	19年度予算 執行率%	88.4
	図書館建設及び改修工事に伴う設計落差、契約落差が生じたほか、ISOに基づく省エネ努力により光熱水費の節減が図れた。また、高円寺図書館の改修に伴う6ヶ月間の臨時休館により、施設維持管理経費全般の執行率の低下につながった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	施設維持管理においては、清掃等建物管理の仕様の見直しを図り、快適な施設整備を図っていると同時に、保守等は法令に従い適正な点検を継続的に実施しており、毎年度仕様について見直しを行っている。また、ISOに基づき、引き続き省エネ等削減に努める。 平成20年度予算は、平成19年12月に開設した今川図書館が通年開館となるため、微増となっている。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	14館構想の図書館整備方針に基づき、事業開始から現在まで13館が建設され当該事業が行われている。また、図書館利用者の利便性の向上の観点から、平成17年度からは通年開館化を図り、休館日を毎月2日とし施設の開設日が増え当該事業の重要性が増している。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	一部施設の老朽化による、施設の使い勝手の悪さ。 古い施設においての、昇降機や機械設備(空調)等、建物設備に関する改善要望				
	今後の予測	最も古い施設は、昭和40年の建設であり、築後40年以上が経過しているが、その間大規模改修も行われておらず、施設保全の観点から今後ますます建替えまたは大規模改修の必要性が増してくる。また、現状のままでは、古い施設において施設維持管理経費の削減が困難となってくる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 施設維持管理を適正に行うことにより、安心・快適な施設利用が可能となり、生涯学習施設として、図書館利用者への貢献度は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由) 成果向上のための方策	理由または具体的内容： 現在の事業費は、すべて施設維持管理に必要なメンテナンス等の経費であり、今後老朽化が進む施設を同等に維持するためには、更なる経費が必要となる。 理由または具体的内容：				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容： 公共図書館では、図書館法第17条に図書館利用の無料規定があるため。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容： 指定管理者制度を活用することにより、人件費の抑制を図ることができる。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方：	<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 現在、協働による図書館運営は、指定管理2館、委託4館(一部窓口のみ)となっている。その中で、当該事業における協働としては指定管理者による施設維持管理が行われており、適正な維持管理が実施されているとともにコストも抑制されている。 今後は、施設老朽化に伴う大規模修繕等に対し、役割分担や経費負担についての検討が必要となってくる。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 図書館利用者にとって、快適に安心して利用できる施設とするため、経営評価の結果を踏まえ、適正な施設維持管理を行う。 図書館は、老朽化している施設が複数あり、これら古い施設に対して最善の策を講じて適正な維持に努めるとともに、安全性及び快適性を高めるため、耐震改修やバリアフリー化、建て替え等を検討する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 適性かつ適切な施設管理を行うため、施設の耐震性や老朽度を判定し、耐震改修促進計画・実施計画に位置づけて、改修・改築を行う。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 現行施設による運営が想定される中、建設や大規模改修といった計画は予定されておらず、快適かつ安全な施設とするために現状と同じ必要な維持管理を行うこととなる。		